



まるでショパンと実の友人であったかのような演奏だ。「神よ、もし貴方が私達と共に在るならば、どうしてこのような痛みを我々に与え続けるのでしょうか」そんな作曲家の叫びが、聴こえてくる。ポーランドという国が辿ったその歴史、ショパンの人生を真に理解していなければ、あれほど激烈に、痛みを表現することは出来ない。

エイカース・エイビス紙(ノルウェー)

グジェゴシュ・ニェムチュク (ピアノ) GRZEGORZ NIEMCZUK

ポーランド、ティヒ生まれ。シマノフスキ音楽大学(カトヴィツェ)をヨゼフ・ストンベル教授に師事し、最優秀で卒業。その後、奨学金を得てマネス大学で学ぶ。メナヘム・プレスラー、フィリップ・ホアキン、ホアキン・アチュカロ、K. ツィメルマン、A. ヤシンスキ、ダン・タイ・ソン、P. パレチニの各氏に師事。

ポーランド人初の入賞となったカーネギーホール国際コンチェルトコンクールの優勝をかきりに、イタリア、ブルガリア、ニューヨーク、イギリス、ベルギーなど多数優勝。第40回ポーランド全国ショパンコンクール(ワルシャワ)で優勝。また母国ポーランドの首相賞、文化省賞、及びティヒ市長賞など数々の栄誉ある賞を受賞している。ソロ活動は、既に11年にも渡り、現在までに6大陸30か国以上を訪問、350回以上のリサイタル・マスタークラスを行っている。2016年、紀尾井ホールにてピアノ協奏曲の演奏会、2017年7月に満席の中、鮮烈な東京デビューリサイタルを行い好評を博す。2017年ポーランド国営ラジオによる、「ショパンを最も優れた解釈で演奏するピアニスト」に、アルゲリッチ、ポリーニと並んで、選ばれる。2018年東京文化会館で開催した演奏で好評を博す。

現在シレジア大学音楽科にて准教授を務める傍ら、リマ音楽院、ノルウェー音楽アカデミー、ナンヤン芸術アカデミー他多数招聘され、演奏及び指導を行っている。音楽雑誌「ショパン」に連載を掲載中。

オフィシャルHP: <http://www.niemczuk.com>



■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。